

2. 令和4年度九州支部事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 基本的考え方

2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組みが官民で広く展開されていく中、国際情勢の大きな変化により、省エネルギーの重要性は一層高まっています。

九州域内の省エネルギー推進を使命とする九州支部は、これまで蓄積した省エネの知見やノウハウを最大限利用しながら再エネ活用も含めた「徹底したエネルギー利用の最適化」の実現に向け、令和4年度の活動を展開してまいります。

2 活動の方向性

- (1) 省エネルギーの必要性の理解浸透
 - 自治体とのCN・脱炭素化推進プロセスの連携強化
 - 商工会議所等関係団体への訪問等PRの強化
 - 経営者への理解促進策の充実
- (2) 講座・セミナー・イベント等の活性化
 - 中小事業者にとって真に魅力ある講座・セミナー等の開催
 - 「有料診断」「管理標準作成支援プログラム」「九州省エネさろん」等支部独自事業の充実
- (3) 人材育成
 - 若手人材（専門員等）の発掘・育成強化
 - 「専門員オンラインさろん」による人材交流の活性化
 - 地域偏在の是正 等

3 主な取組み内容

- (1) 中小企業等への支援
 - 省エネ最適化診断の実施
 - 工場のエネルギー使用状況調査
 - 事業者、業界団体等への省エネ講師派遣 等
- (2) 試験・研修・講習・講座等の実施
 - エネルギー管理士試験の実施
 - エネルギー管理研修、エネルギー管理講習（新規、資質向上）の実施
 - 法令講座、技術講座の実施 等
- (3) 各種表彰
 - エネルギー管理優良工場等・功績者表彰
 - 省エネ推進功労者表彰
- (4) 賛助会関係（大企業支援）
 - 有料診断、省エネ法・管理標準整備支援プログラム

- 各種賛助会員へのサービスの充実 等
- (5) 支部独自の活動の充実
 - 国、地方自治体、民間企業からの省エネ関連事業受託
 - 「九州省エネさろん」等の実施 等
- (6) 情報発信
 - ホームページ、メルマガ等を通じた的確な情報提供
 - 相談・問合せ等へのきめ細やかな対応 等

以 上